

2026 年 9 月 29 日

【厨房の 86%を自社運営】介護の「食」に本気 1,044 名の厨房職員が支える「そよ風」の食、 全国の職員が“おもてなし力”を競う「GOHAN グランプリ」決勝開催

～全国 51 事業部・154 チーム・518 名が参加、予選を勝ち抜いた 10 チームが 10 月 11 日、東京に集結～

全国で「そよ風」ブランドを中心に高齢者介護サービスを展開する株式会社 SOYOKAZE（本社：東京都港区、代表取締役社長：中川 清彦、以下「当社」）は、2026 年 10 月 11 日（日）、佐伯栄養専門学校（東京都大田区）にて、第 8 回 GOHAN グランプリの決勝大会を開催します。

今年は全国 51 事業部から 154 チーム・518 名がエントリー。事業部予選、ブロック予選を経て選ばれた 10 チームが、10 月 11 日の決勝大会に進出します。



第 7 回 GOHAN グランプリの様子。調理やプレゼンテーションを通じて日頃培った技術やアイデアを競い、会場では出場者や応援する職員が一体となって大会を盛り上げます

▼動画で見る 第 7 回 GOHAN グランプリ

<https://www.youtube.com/watch?v=UDu8lppsIP0>

近年、人手不足や食材費・人件費の上昇などを背景に、高齢者施設の食事の外部委託が進む中、当社では「できたての温かくおいしい食事」を大切に、厨房を有する 294 拠点のうち 252 拠点(85.7%)を自社で運営しています。全国 1,044 名^(※1)の厨房職員が活躍するほか、99 名の管理栄養士、226 名の栄養士が在籍し^(※1)、日々のお客さまの「食べる楽しみ」を支えています。

「GOHAN グランプリ」は、当社の職員が日頃培ってきた知識や技術を駆使して料理を競う全国規模の社内料理コンテストです。職員同士が切磋琢磨し、調理技術やおもてなし力を高めることで、日々のお客さまへの食事サービスの向上につなげるとともに、「そよ風」が大切にしている食の魅力を社内外に発信することを目的としています。

今年のテーマは、「チームワーク・技術・経験で魅せる“おもてなし力”」。決勝大会に進出した 10 チームが、それぞれの技を料理に込めて競います。

■できたてのおいしさと「食べる楽しみ」を、自社厨房から

日々の食事は、栄養を摂るだけでなく、生活の中での大きな楽しみのひとつでもあります。

自社厨房では、厨房職員がそれぞれの経験を生かし、日々の食事や行事食などに工夫を凝らしています。お客さまの声を身近に聞きながら、一人ひとりの嗜好や状態に寄り添った食事を提供できることが強みです。

栄養の専門職によるサポート、そして「食」を大切にする企業文化。これらが「そよ風」の食事を支えています。



第 7 回 GOHAN グランプリ（左）優勝作品『『食の精鋭～仙台・山形事業部の味～』（中）準優勝 「彩幸御膳」（右）準優勝 「七福神のめぐみ」

■「食」への思いを職種を越えて。磨き合う“おもてなし力”

「そよ風」が大切にする「食」への思いを職種を越えて共有し、よりよい食事サービスにつなげるため、今年の「GOHAN グランプリ」では、厨房職員に加え、ブロック長や事業部長、センター長、本社職員など、さまざまな職種が参加できる大会へと進化しました。

決勝大会では、全国各地の予選を勝ち抜いたチームが、日々の仕事で培ってきた知識・経験・技術やアイデアを料理に込め、チームで“おもてなし力”を表現します。



第 7 回 GOHAN グランプリの様子。第 8 回となる今年は、これまで応援や運営で大会を支えてきた職員も、選手として参加できる大会へと進化しました。

【第 8 回 GOHAN グランプリ 決勝大会 開催概要】

日時： 2026 年 10 月 11 日（日）

会場： 佐伯栄養専門学校（東京都大田区蒲田）

テーマ： 「チームワーク・技術・経験で魅せる“おもてなし力”」

決勝進出： 10 チーム（1 チーム 2～5 名）

審査： 社内審査員およびオンラインで視聴する全職員による投票

審査方法： ビジュアル、味、調理技術、独創性、目的適合性、プレゼンテーション、バランス、チームワーク、モラル、応援団の 10 項目（各 10 点・100 点満点）による総合評価

内容： 調理、プレゼンテーション、審査、表彰式など（予定）

<報道関係者の皆さまへ>

10月11日（日）決勝大会の取材を受け付けています。

当日は、全国各地の予選を勝ち抜いた職員たちが調理に挑む様子をはじめ、完成した料理、審査・表彰の様子などをご取材いただけます。

決勝進出者へのインタビューのほか、SOYOKAZEの「食」への取り組みについても取材いただけます。ご希望の報道関係者の方は、広報担当までお問い合わせください。

■株式会社 SOYOKAZE について

1997年に介護事業を開始し、「そよ風」ブランドを中心に在宅介護サービスや居住系サービスを幅広く展開しています。ショートステイにおいては業界トップ^(※2)の運営数を有し、複数のサービスを同一拠点内で提供する「複合型施設」を数多く運営しています。自社厨房を活かしたできたての食事サービスや、健康寿命の延伸を目指す新たな事業の開発にも積極的に取り組んでいます。これらの取り組みを通じて、高齢者の生活の質（QOL）向上と誰もが自分らしく暮らせる社会の実現を目指しています。

商 号：株式会社 SOYOKAZE

代 表 者：代表取締役社長 中川 清彦

所 在 地：東京都港区南青山 2-5-17 ポーラ青山ビルディング 10F

設 立：1975年6月

事業内容：介護事業、宅配食事業、フィットネス事業、コミュニティ事業、顧客紹介事業

コーポレートサイト：<https://corp.sykz.co.jp>

サービスサイト：<https://www.sykz.co.jp/>

介護サービス拠点数・サービス内訳（2026年7月末時点）

・拠点数：368 拠点

・サービス事業所数：702 事業所

・サービス内訳（事業所数）

デイサービス（243）、ショートステイ（191）、グループホーム（115）、有料老人ホーム（45）、サービス付き高齢者向け住宅（18）、居宅介護支援（61）、定期巡回・随時対応型訪問介護（16）、訪問介護（10）、小規模多機能型居宅介護・その他（3）

<注釈・出典>

（※1）2026年7月末時点

（※2）[厚生労働省「介護サービス情報公表システム」オープンデータ（2025年12月末時点公表分）](#)

に基づく当社集計

<本件に関する報道関係の皆さまからのお問合せ先>
株式会社 SOYOKAZE 広報メール：press@sykz.co.jp

<第7回 GOHAN グランプリ決勝戦当日の様子>

